

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2020-73474(P2020-73474A)

【公開日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2020-019

【出願番号】特願2019-183028(P2019-183028)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04 (2006.01)

A 61 K 31/437 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 7/06 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04 101

C 07 D 471/04 C S P

A 61 K 31/437

A 61 P 43/00 111

A 61 P 7/06

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月20日(2020.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

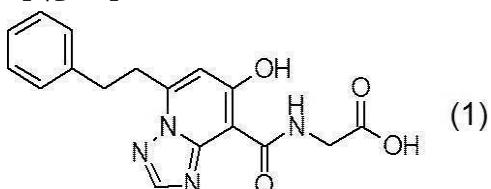
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

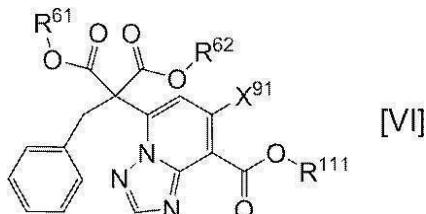
化合物(1)：

【化1】



又はその製薬上許容される塩の製造方法であって、化合物[VI]：

【化2】



(式中、R⁶¹、R⁶²及びR¹¹¹は、それぞれ独立して、C₁₋₆アルキル又はベンジルを表し、X⁹¹はハロゲン、p-トルエンスルホニルオキシ、メタノスルホニルオキシ、トリフルオロメタンスルホニルオキシ又はトリフルオロアセチルオキシを表す。)又はその塩を加水分解した後脱炭酸して化合物[IV]：

【化3】

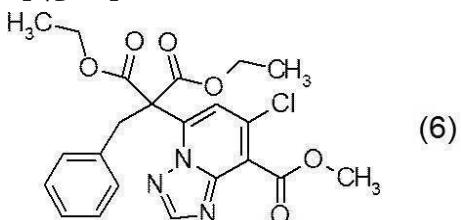


(式中、 X^{91} は前記と同義である。)又はその塩を得る工程を含む製造方法。

【請求項2】

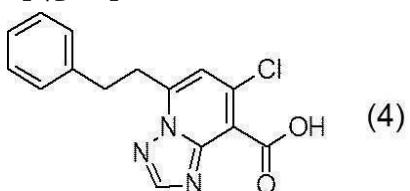
化合物[VI]又はその塩が化合物(6)：

【化4】



又はその塩であり、化合物[IV]又はその塩が化合物(4)：

【化5】

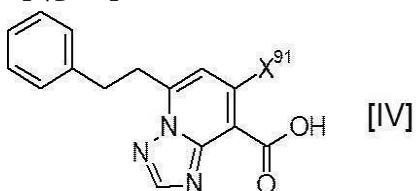


又はその塩である、請求項1記載の製造方法。

【請求項3】

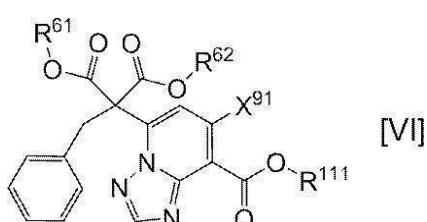
化合物[IV]：

【化6】



(式中、 X^{91} はハロゲン、p-トルエンスルホニルオキシ、メタンスルホニルオキシ、トリフルオロメタンスルホニルオキシ又はトリフルオロアセチルオキシを表す。)又はその塩の製造方法であって、化合物[VI]：

【化7】

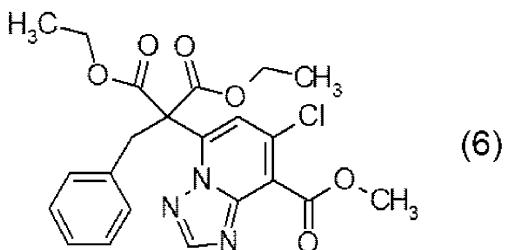


(式中、 R^{61} 、 R^{62} 及び R^{111} は、それぞれ独立して、 C_{1-6} アルキル又はベンジルを表し、 X^9 は前記と同義である。)又はその塩を加水分解した後脱炭酸して前記化合物[IV]又はその塩を得る工程を含む製造方法。

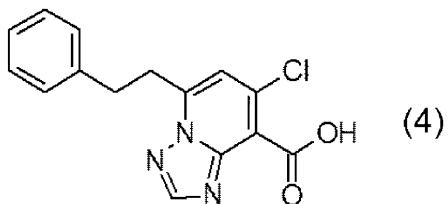
【請求項4】

化合物[VI]又はその塩が化合物(6)：

【化 8】

又はその塩であり、化合物[IV]又はその塩が化合物(4)：

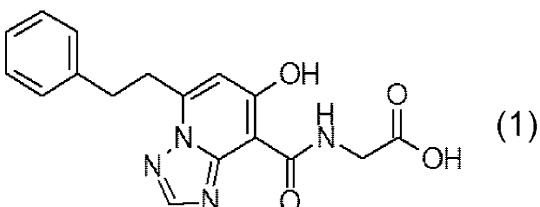
【化 9】

又はその塩である、請求項3記載の製造方法。

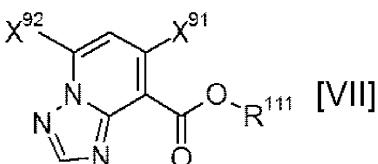
【請求項5】

化合物(1)：

【化 1 0】

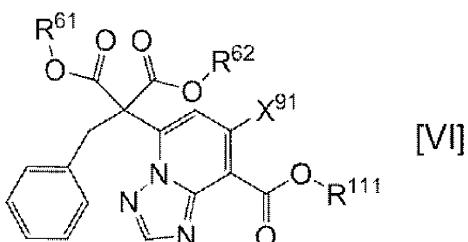
又はその製薬上許容される塩の製造方法であって、化合物[VII]：

【化 1 1】



(式中、 X^{91} はハロゲン、p-トルエンスルホニルオキシ、メタンスルホニルオキシ、トリフルオロメタンスルホニルオキシ又はトリフルオロアセチルオキシを表し、 X^{92} はハロゲン、p-トルエンスルホニルオキシ、メタンスルホニルオキシ、トリフルオロメタンスルホニルオキシ又はトリフルオロアセチルオキシを表し、 R^{111} はC₁₋₆アルキル又はベンジルを表す。) 又はその塩をベンジルマロン酸誘導体と反応させて化合物[VI]：

【化 1 2】

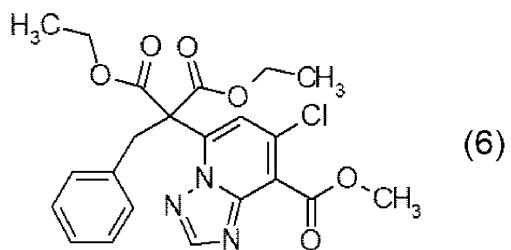


(式中、 R^{61} 及び R^{62} は、それぞれ独立して、C₁₋₆アルキル又はベンジルを表し、 X^{91} 及び R^{111} は前記と同義である。) 又はその塩を得る工程を含む製造方法。

【請求項6】

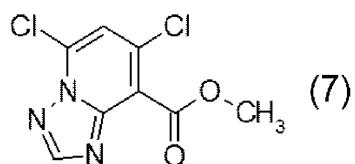
化合物[VI]又はその塩が化合物(6)：

【化13】



又はその塩であり、化合物[VI]又はその塩が化合物(7)：

【化14】



又はその塩である、請求項5記載の製造方法。